



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社ゲオホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2681 URL <https://www.geonet.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 遠藤 結蔵
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部GM (氏名) 梶田 義章 TEL 052-350-5711
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	106,725	31.1	5,790	43.8	7,068	49.5	4,828	59.1
2023年3月期第1四半期	81,377	7.0	4,027	248.4	4,729	252.5	3,034	476.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,793百万円 (52.8%) 2023年3月期第1四半期 3,136百万円 (567.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	122.21	121.58
2023年3月期第1四半期	71.56	71.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	209,108	81,558	38.9
2023年3月期	201,804	77,212	38.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 81,240百万円 2023年3月期 76,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	12.00	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	6.0	13,000	22.4	13,500	13.2	7,000	23.2	177.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	39,520,052株	2023年3月期	39,505,152株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	－株	2023年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	39,510,146株	2023年3月期1Q	42,405,952株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の「5類感染症」への位置づけの変更に伴い、経済活動は正常化に向けて再開し始め景気の持ち直しが期待されています。しかしながら、地政学的リスクの長期化や資源・原材料価格の上昇、急激な円安による為替相場の変動、世界的なインフレに伴う政策金利の引き上げなどによる経済減速の影響も懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、当社グループにおきましては、政府の情報を参考にしながら感染再拡大防止のための自主的な取組を継続して実施し、お客様・従業員の安全に十分に配慮しながら商品・サービスの提供を行い、「豊かで楽しい日常の暮らしを提供する」ことを目指し、様々な取り組みを続けております。

リユース系リユース商材の動向といたしましては、リユース衣料・服飾雑貨は、物価高騰に伴う生活防衛策としてのリユース需要の高まりや、認知拡大により消費者にとって購買時の選択肢の1つになるといった消費スタイルの変化もあり、想定以上に推移した結果、リユース系リユース商材全体の売上は増加いたしました。

メディア系リユース商材の動向といたしましては、旧作ゲームソフトの購入においてもダウンロード版の普及が浸透してきており、リユースゲームソフトの売上は減少傾向となっておりますが、人気ゲームソフトのロングヒットや、新作ヒットタイトルの前作需要創出によりリユースゲームソフトの売上は増加いたしました。リユースゲーム機器本体は家庭用ゲーム機「PlayStation 5」本体の流通量増加やヒットタイトルに恵まれ、売上が増加しました。また、スマートフォンやタブレット端末等のリユース通信機器につきましては、市場の活性化に加え、新品価格の高騰による節約志向がリユース通信機器の販売に好影響としてあらわれ、メディア系リユース商材全体の売上は増加いたしました。

新品商材の動向といたしましては、昨年末より家庭用ゲーム機「PlayStation 5」本体の供給が改善し、さらに新作タイトルのヒットにも恵まれ、売上は増加いたしました。

また、外国為替相場的大幅な円安進行により、為替差益966百万円を計上いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高106,725百万円(前年同期比31.1%増)、営業利益5,790百万円(前年同期比43.8%増)、経常利益7,068百万円(前年同期比49.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,828百万円(前年同期比59.1%増)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。

()内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店		F C店・代理店			合計	
	出店数	退店数	出店数	退店数			
ゲオグループ店舗数	1,856	31	18	172	0	8	2,028 (+5)
GEO	961	6	9	118	0	7	1,079 (△10)
2nd STREET (国内)	753	9	4	54	0	1	807 (+4)
2nd STREET (米国)	25	2	0	0	0	0	25 (+2)
2nd STREET (台湾)	20	2	0	0	0	0	20 (+2)
2nd STREET (マレーシア)	13	2	0	0	0	0	13 (+2)
OKURA TOKYO (お蔵)	23	1	1	0	0	0	23 (0)
LuckRack	20	3	4	0	0	0	20 (△1)
その他	41	6	0	0	0	0	41 (+6)

(注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。

2. GEOは家庭用ゲーム・携帯電話・スマートフォンの買取販売、DVDレンタル等を行う店舗(屋号: GEO、GEO mobile)をカウントしています。

3. 2nd STREETは衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗(屋号: 2nd STREET、Super 2nd STREET、2nd OUTDOOR、JUMBLE STORE等)をカウントしています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は137,383百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,071百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が442百万円、売掛金が500百万円、商品が3,430百万円増加したことによるものであります。固定資産は71,725百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,232百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物(純額)が1,506百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、209,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,304百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は43,617百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,608百万円減少いたしました。これは主に買掛金が3,519百万円増加した一方、短期借入金が6,000百万円減少したことによるものであります。固定負債は83,932百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,566百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が7,737百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、127,550百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,958百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は81,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,345百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4,828百万円及び剰余金の配当474百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は38.9%(前連結会計年度末は38.1%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました通期業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	44,286	44,729
売掛金	11,712	12,212
商品	64,241	67,672
その他	11,294	12,978
貸倒引当金	△223	△209
流動資産合計	131,311	137,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,955	16,461
その他(純額)	25,892	26,092
有形固定資産合計	40,847	42,553
無形固定資産	3,264	3,427
投資その他の資産		
敷金及び保証金	18,033	18,232
その他	9,098	8,262
貸倒引当金	△751	△750
投資その他の資産合計	26,380	25,743
固定資産合計	70,492	71,725
資産合計	201,804	209,108
負債の部		
流動負債		
買掛金	16,034	19,553
短期借入金	6,000	-
1年内返済予定の長期借入金	7,487	7,925
その他	19,704	16,139
流動負債合計	49,225	43,617
固定負債		
長期借入金	54,462	62,200
資産除去債務	7,054	7,070
その他	13,849	14,662
固定負債合計	75,366	83,932
負債合計	124,592	127,550
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,081	9,094
資本剰余金	3,493	3,506
利益剰余金	64,386	68,741
株主資本合計	76,962	81,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	2
為替換算調整勘定	△69	△104
その他の包括利益累計額合計	△66	△101
新株予約権	316	313
非支配株主持分	-	4
純資産合計	77,212	81,558
負債純資産合計	201,804	209,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	81,377	106,725
売上原価	47,182	67,436
売上総利益	34,194	39,289
販売費及び一般管理費	30,167	33,498
営業利益	4,027	5,790
営業外収益		
為替差益	482	966
不動産賃貸料	175	223
その他	256	330
営業外収益合計	915	1,520
営業外費用		
支払利息	57	61
不動産賃貸費用	67	128
その他	87	53
営業外費用合計	212	242
経常利益	4,729	7,068
特別損失		
減損損失	11	46
特別損失合計	11	46
税金等調整前四半期純利益	4,718	7,022
法人税、住民税及び事業税	1,092	1,329
法人税等調整額	591	864
法人税等合計	1,683	2,193
四半期純利益	3,034	4,828
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,034	4,828

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,034	4,828
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	0
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	90	△35
その他の包括利益合計	102	△34
四半期包括利益	3,136	4,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,136	4,793

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(資本準備金の額の減少)

当社の2023年6月29日開催の第35期定時株主総会において、資本準備金の額の減少及びその他資本剰余金への振替が承認可決されました。

1. 額の減少及び振替の目的

今後の資本政策の機動性、柔軟性を確保するため、会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるものです。

2. 額の減少及び振替の要領

資本準備金の額2,689,432,447円全額を減少し、その減少額全額をその他資本剰余金に振り替えいたします。

3. 資本準備金の額の減少の日程

(1) 取締役会決議日	2023年5月12日
(2) 株主総会決議日	2023年6月29日
(3) 債権者異議申述公告日	2023年7月28日
(4) 債権者異議申述最終期日	2023年8月28日(予定)
(5) 効力発生日	2023年8月31日(予定)

4. 今後の見通し

本件は「純資産の部」における勘定科目間の振替処理であり、純資産額に変動はなく、業績に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。